

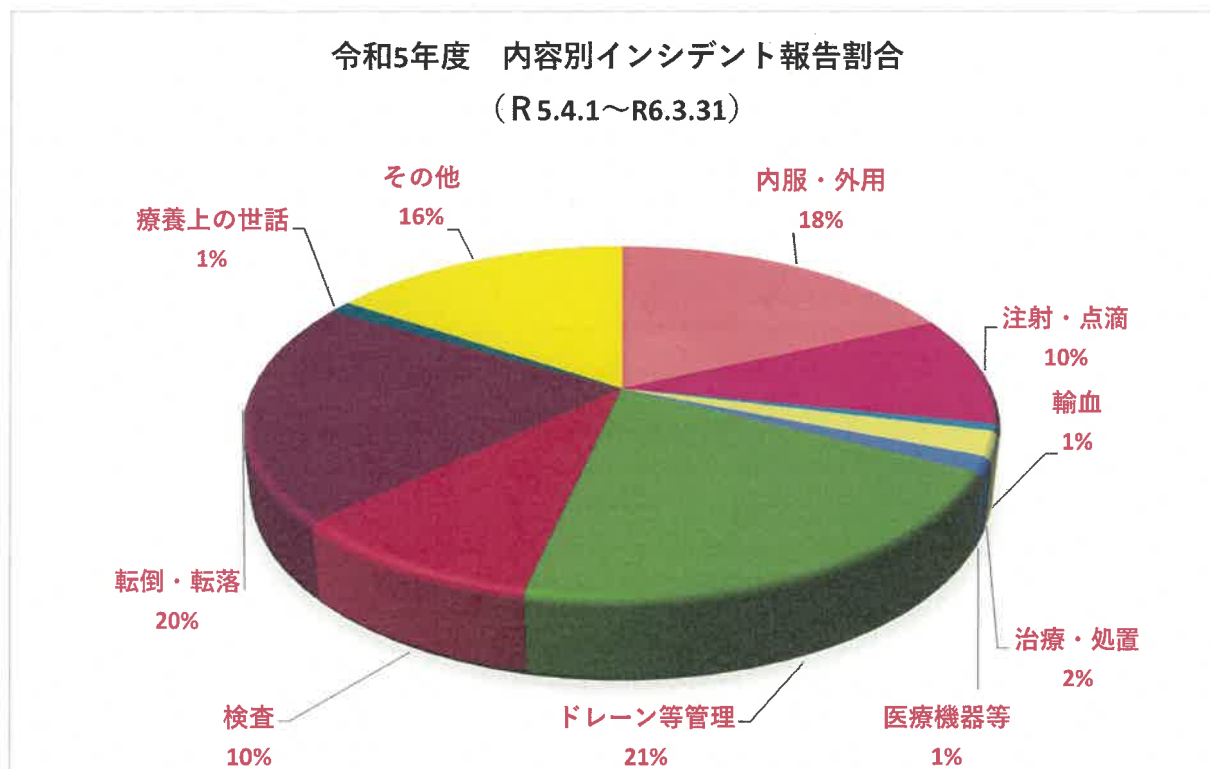
影響レベル

	レベル	傷害の継続性	傷害の程度	障害の内容
インシデント	レベル0	—		エラーや医薬品・医療器具の不具合が見られたが、患者さんには実施されなかった
	レベル1	なし		患者さんへの実害はなかった（何らかの影響を与えた可能性は否定できない）
	レベル2	一過性	軽度	処置や治療は行わなかった（患者観察の強化、バイタルサインの軽度変化、安全確認のための検査などの必要性は生じた）
	レベル3a	一過性	中等度	簡単な処置や治療を要した（消毒、湿布、皮膚の縫合、鎮痛剤の投与など）
アクシデント	レベル3b	一過性	高度	濃厚な処置や治療を要した（バイタルサインの高度変化、人工呼吸器の装着、
				手術、入院日数の延長、外来患者さんの入院、骨折など）
	レベル4a	永続的	軽度～中等度	永続的な障害や後遺症が残ったが、有意な機能障害や美容上の問題は伴わない
	レベル4b	永続的	中等度～高度	永続的な障害や後遺症が残り、有意な機能障害や美容上の問題は伴う
	レベル5	死亡		死亡（原疾患の自然経過によるものを除く）
その他				医療に関する患者さんからの苦情、施設上の問題、医療機器の不具合・破損（重大な結果をもたらす恐れのある場合）、麻薬・劇薬・毒薬等の紛失

令和5年度 インシデント・アクシデント報告の内容別割合

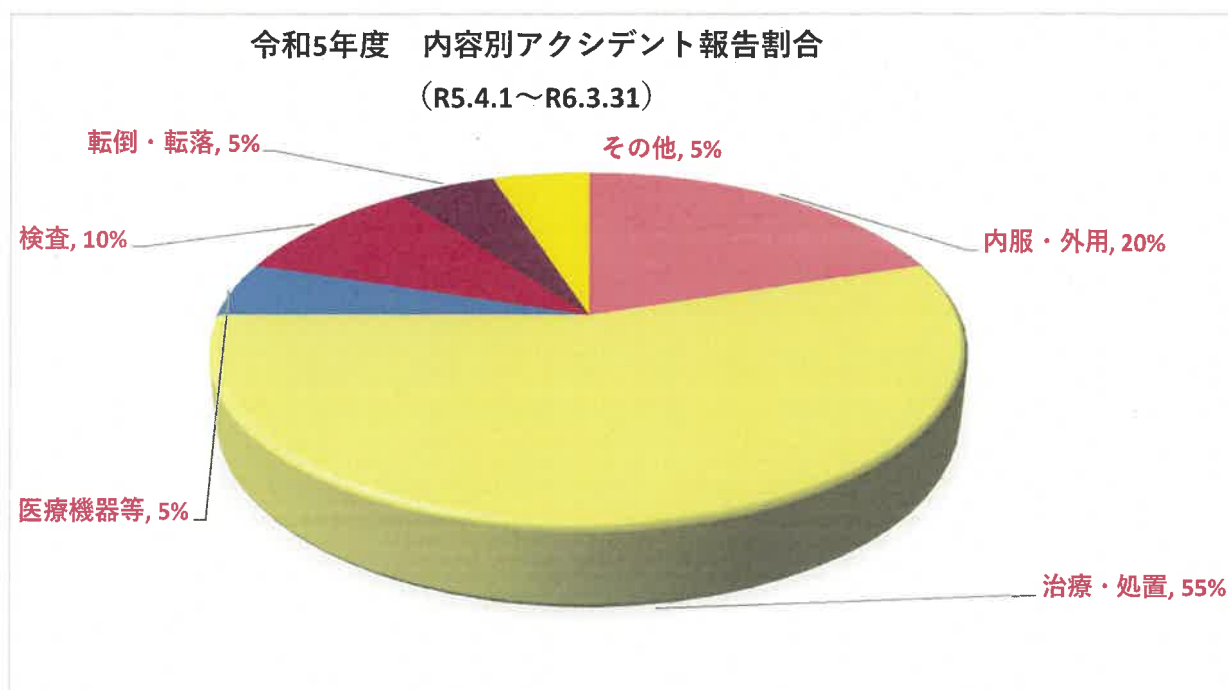
1 内容別インシデント割合

761件



2 内容別アクシデント別割合

20件



影響レベル別割合3年間比較（令和3年度～令和5年度）

